



第5回 | 化学イノベーションシンポジウム

明日をひらく化学のとびら

期日：平成19年8月4日(土)12:30~17:20

会場：名古屋市公会堂大ホール(名古屋市昭和区鶴舞 1-1-3)

[交通]JR 中央本線・地下鉄鶴舞線とも『鶴舞』駅下車、徒歩2分

平成19年度文部科学省科学研究費補助金研究成果公開促進費補助事業

高校生・大学生・一般市民のための展示説明会(12:30~13:30)

野依良治博士ノーベル化学賞受賞メダル・賞状など、青色発光ダイオードおよび光触媒技術を使った製品、カーボンナノチューブのモデル、太陽電池などの紹介と解説。

シンポジウム(13:35~17:30) / 総合司会：早川 芳宏 日本化学会東海支部長

開会挨拶(13:35~13:40) 平野 真一 名古屋大学総長

国際化学オリンピックの紹介：2010年日本大会開催にむけて

13:40~14:00
(DVD映像)

化学オリンピック日本委員会

講演

1

14:05~14:50
座長 / 増田秀樹
(名古屋工業大学)

ナノテクとカーボンナノチューブの未来

飯島 澄男 名城大学大学院理工学研究科教授・産業技術総合研究所ナノカーボン研究センターセンター長・日本電気株特別首席研究員

休憩(10分)

2

15:00~15:45
座長 / 鈴木正昭
(岐阜大学)

人はなぜ病気になるのか

黒木登志夫 岐阜大学学長

3

15:45~16:30
座長 / 河本邦仁
(名古屋大学)

夢の青色発光ダイオードはいかに創られたか

赤崎 勇 名城大学大学院理工学研究科教授・名古屋大学特別教授・名誉教授

4

16:30~17:15
座長 / 高木克彦
(名古屋大学名誉教授)

環境と光エネルギー：光触媒のひろがり

藤嶋 昭 日本化学会会長・神奈川科学技術アカデミー理事長・東京大学特別栄誉教授

閉会挨拶(17:15~17:20) 藤嶋 昭 日本化学会会長

定員：1,000名になり次第。

参加費：無料(資料付)参加者全員に記念品を差し上げます。

懇親会：17時30分より同所地階レストランにて。

参加費 3,000円(参加費は懇親会場でお支払い下さい)

申込方法：当日会場で参加申込みできますが、事前に日本化学会ホームページ(<http://www.csj.jp/learned-society/kagaku-innovation/toroku.html>)または下記事項を明記してe-mailでお申し込み頂ければ幸いです。

①氏名②所属・役職(学年)③連絡先(〒、住所、電話番号、FAX番号、e-mail)④懇親会参加の有無

申込先：101-8307東京都千代田区神田駿河台1-5
(社)日本化学会企画部 化学イノベーションシンポジウム係
電話：東京(03)3292-6163、FAX：東京(03)3292-6318
e-mail:innov@chemistry.or.jp

主催：(社)日本化学会、同東海支部、同化学教育協議会
共催：(財)化学技術戦略推進機構、(社)日本化学工業協会、
(予定)名古屋大学、名古屋工業大学、名古屋市立大学、
岐阜大学、名城大学、信州大学、三重大学、静岡大学、
豊橋技術科学大学、愛知工業大学、中部大学、
大同工業大学、静岡理科大学、豊田工業大学、
愛知教育大学、岐阜薬科大学、金城学院大学、
椋山女学園大学、鈴鹿工業高等専門学校、
沼津工業高等専門学校

後援：(独)科学技術振興機構、
(社)応用物理学会、(社)高分子学会、(社)化学工学会、
(社)日本セラミックス協会、(社)電気化学会、
(社)日本農芸化学会、(社)日本分析化学会、
(社)日本薬学会、(社)有機合成化学協会、
(社)日本理科教育振興協会、(社)全国中学校理科教育研究会、
名古屋市科学館、東海化学工業会、中部科学技術センター、
愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、静岡県教育委員会、
長野県教育委員会、三重県教育委員会、名古屋市教育委員会、
東京新聞社、中日新聞社、岐阜新聞社、日刊工業新聞社